

学校だより

令和8年度 6月号

共に学び
明日が楽しみになる学校

しもこ

川崎市立下小田中小学校

安心して失敗することができる学校

こうちょう あんざい ようこ
校長 安齋 陽子

1年生が蒔いた、あさがおの種から芽が出て、双葉が青々と葉をひろげています。「校長先生、見て!見て!」と、自分の鉢まで案内してくれて「5個種をまいて、4個芽が出たから、あと1個なんだ!」「帽子をかぶった芽があるんだよ。」「喉が渇くといけないから、たくさんお水をあげるの。」などなど、昇降口の前は毎朝にぎやかです。

さて、新しい学年が始まって2か月。子どもたちは毎日の生活の中で、たくさんの挑戦をしています。初めての係活動や委員会活動に取り組んだり、苦手な勉強に向き合ったり、友達との関わりの中で悩んだりすることもあります。そのような日々の中で、大切にしたいのは「安心して失敗できる学校」であることです。子どもたちは失敗を通して多くのことを学びます。うまくいかなかった経験があるからこそ、「次はこうしてみよう」と考えたり、相手の気持ちに気付いたり、自分なりの工夫を生み出したりすることができます。失敗は、決してマイナスなものではなく、成長への大切な一歩です。しかし、失敗を恐れる気持ちが強くなると、挑戦そのものを避けるようになってしまいます。「間違えたらどうしよう」「怒られたくない」と感じると自分の力を発揮する機会を失ってしまうこともあります。だからこそ、学校では「やってみよう!」と思える安心感を大切にして、うまくいかなかった時にも「大丈夫、次があるよ」「どうしたら良かったかな」と、一緒に振り返る関わりを心がけています。また、子どもを思うあまり、つい失敗しないよう先回りしすぎてしまうことがあります。子ども自身が考え、悩み、後悔なども含めて、経験することでしか育たない力があるのではないのでしょうか。失敗を取り除くことではなく、失敗しても安心して立ち上がれるように見守り、伴走して一緒に乗り越えたいと考えています。子どもたちは一人ひとり違うペースで成長しています。時には転びながらも自分の力で前に進もうとする姿をこれからも温かく支えていきたいと思います。

ご家庭でも、ぜひ結果だけではなく、「挑戦したこと」「頑張ろうとした気持ち」に目を向けて、励ましていただければ幸いです。また、子どもたちだけではなく教職員や保護者・地域の皆さん誰もが安心して挑戦することのできる温かい学校づくりを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。